

めあてについて

今日は、8の合成・分解について行います。



おうちの方とのゲームでのやりとりは6の合成・分解のときと同様ですが、数が大きくなるごとに難しくなっていきますので、ゆっくり取り組んでいってください。

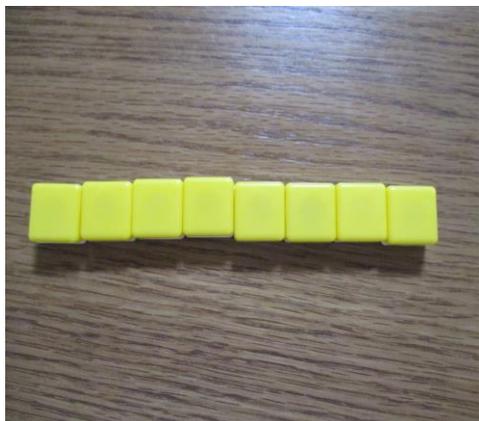
準備物に、じゅうちょう (連絡ぶくろに入れてあるノートです。) がいるので、ご準備ください。

よろしくお願いいたします。

活動① ●おうちの ひとと ゲームをしよう。

(手順)

- ① さんすう ぶろっくを8つ用意し、「ここにブロックが8つあります。」と言う。



- ② 8つのブロックを手の中で振り、右手と左手に分ける。



③ 片方にあるブロックを見せて、「右手にはいくつあるでしょう」と聞く。(答え：5)



④ ①～③をくり返す。

☆ポイント☆ ゲームが1回終わるごとに、

「8は3と5に分けられます。」と、

「いくつといくつに分けられる」のか言葉にしてあげてください。

6や7のときと比べて、答えるのに時間がかかることもありますが、
ゆっくりで大丈夫です。

☆8の合成・分解は、

①「8は1と7に分けられます。」

②「8は2と6に分けられます。」

③「8は3と5に分けられます。」

④「8は4と4に分けられます。」

⑤「8は5と3に分けられます。」

⑥「8は6と2に分けられます。」

⑦「8は7と1に分けられます。」

の7つのパターンです。

活動②

●きょうかしょの 25ページを ひらけましょう。

もんだい③を しましょう。

(「ブロックをいくつといくつに分けているかな。」と聞き、例) 1と7のように口のに数字をえんぴつで書きます。)

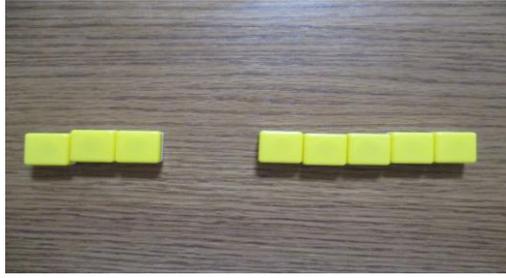
活動③

●おうちのひとが いったことを ずに かいて みよう。

(手順)

①「8は3と5に分けられます。」とおうちの方が言う。

②おうちの方が言った言葉を聞いて、お子さんが、さんすう ぶろっくを並べる。

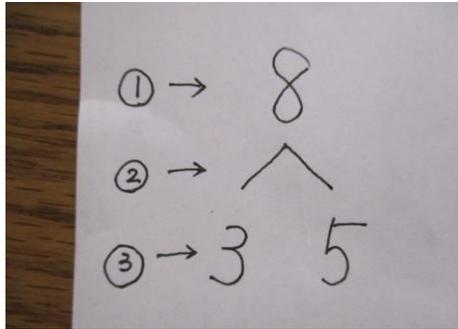


③じゅうちょうに、「8は3と5に分けられます。」と言いながら、図で書く。

(じゅうちょうがない場合は、いらぬ紙、折り紙の裏など、なんでもいいです。)

(図の書き方)

1. 8を書く。
2.  を書く
3. 3と5を書く。

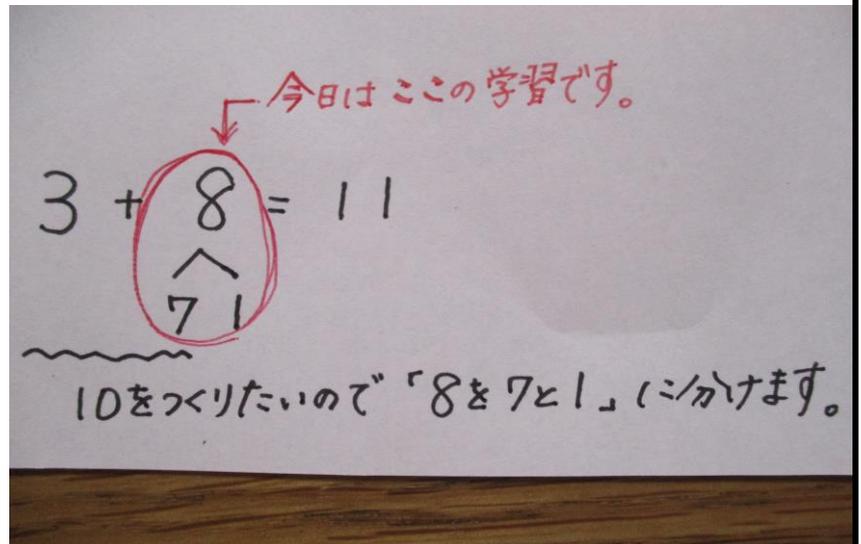


☆ポイント☆ おうちの方が言った言葉を聞いて、図に書き表すことができることです。

図の書き方に最初はとまどうこともありますが、繰り返し行うことでやり方が分かってきますので、8の合成・分解の7つのパターンを繰り返し行ってあげてください。

今後、繰り上がりのたし算や、くり下がりのひき算のときに「さくらんぼ計算」として使っていきます。ゆっくりで大丈夫ですので、ていねいに取り組んでください。

(さくらんぼ計算の例)



今日の学習は以上です。ありがとうございました。

